

# 続 つながり ～災害支援～

7月10日の豪雨災害から3か月が経過しました。災害後の復旧・復興活動は続いており、被災された方々が日常生活に戻るにはまだまだ時間がかかります。

中津市社会福祉協議会では7月の豪雨災害以降、被災者支援ボランティア以外にも被災者支援窓口を設置し、困りごとを抱える人の相談や支援を続けています。9月以降の社協の取り組みをご紹介します。

## 「うるうるパック」の配布

9/25～9/29



企業や団体、個人の方々よりご寄付で頂いた物品等をセットにし、被災された48世帯に配布しました。

## 拡大版「フードパントリー」

10月25日(水)



被災者支援の一環として、希望者に食糧品の配布を行いました。他にもお困りの方を含め18世帯に配布しました。

## おおいた・おカワリプロジェクト

10月30日(月)



『おおいた・おカワリプロジェクト』はNPO法人地域ひとネットが中心となり、被災された方々へ必要物資を届ける支援を行っています。今回、特に被害の大きかった6世帯の方々に毛布等冬物をお届けしました。

ちいき福祉だより

# かかし

発行元:中津市社会福祉協議会  
地域福祉課 地域福祉推進係山国  
(山国社会福祉センター内)

〒871-0712

中津市山国町守実89番地1

TEL: 62-2898 FAX: 62-2905



## 山国サロン! パワー炸裂!! ♪まだまだわか～い まだわかい♪

10月22日、コアやまくにて『やまくにふるさとまつり』が開催され、オープニング「園児とお年寄りの競演」のプログラムの中で山国サロンから8サロン27名の方がステージに立ち、健康体操「長生き音頭」を披露しました。

初めてステージに立つ方も多く、ドキドキと心配な様子もありましたが、音楽が始まるといつものサロンでやっている通りに揃った演技ができ、会場から大きな拍手をいただきました。

出演の中で最高齢90歳の藤原登美香さんに後日感想をお聞きすると「最近腰を痛めていて気持ちも沈みがちでしたが、ステージに立ってとても楽しく、気持ちが若返りました。何か目標を持って過ごすことを忘れていたので、良いきっかけとなりました。これからもサロン頑張ります」とおっしゃっていました。さわやかな秋晴れの一日、いつまでも心に残る日となりました。お疲れさまでした。



## ＜お知らせコーナー＞

令和5年度福祉ボランティア講座

### 遊びの学校

～わくわくマイスター養成講座～

とき: 令和5年11月28日(火)  
10:00～11:30

場所: 山国社会福祉センター

申込締切: 11月20日(月) ※先着20名です お問い合わせ先: 電話62-2898 (担当: 城土)

～講座の内容～

どこのお宅にもあるトイレットペーパーの芯を使用した手作りレクリエーション「びゅーんびゅーん新幹線」を作ります!

ご参加お待ちしております!

参加無料

### 「ともだちひろば」

日にち: 12月6日(水)  
時間: 10時半～11時半  
場所: 山国社会福祉センター

三光児童館のスタッフが山国に出張し、読み聞かせやリズム遊びなど未就学児と保護者の方を対象としたイベントを行います。お気軽にお越しください。

### ～心配ごと相談～

日にち: 12月20日(水)  
時間: 9時～12時  
場所: 山国社会福祉センター

山国地区の民生委員さんが、いろいろな心配事の相談に応じてくれます。お気軽にご相談ください。

### ～山国身近な相談日～

日にち: 12月21日(木)  
時間: 13時～16時  
場所: 山国社会福祉センター

生活支援コーディネーターが介護予防や生活支援について困りごとや不安などのお話を伺います。お気軽にお立ち寄りください。 TEL 62-2898



ふるさとまつり軽トラ市の横で、珈琲のよい香りを漂わせ振舞っていたのは珈琲講座“男塾”の桑野清美さん。お話をお伺いすると「山国を盛り上げるために珈琲を入れています。今年で5年目です。美味しいと言って飲んでもらって笑顔がたくさんあって、自分も嬉しいです。」とおっしゃっていました。ちなみにこの日、101杯のコーヒーをいれたそうです!美味しい珈琲をごちそうさまでした。



### ～珈琲講座“男塾”とは～

中津市社会福祉協議会がカフェクラフト奥村哲夫マスターを講師にお招きし、様々な地域活動においてコーヒーを提供する際に役に立つ知識や技術を学ぶ男性限定のボランティア講座。



※ボランティア活動のため、コーヒーは無料でした!!

## 安心・安全な地域をめざして！「見守りネットワーク こやがわ」が発足！

令和5年8月、山国地区で6番目となる「見守りネットワーク こやがわ」が発足しました。小屋川地区では令和4年10月から自治委員、民生委員、消防団、防災士の方々が中心となり、見守りネットワーク立ち上げに向け話し合いを進めてきました。

年間の活動として、配り物の時に声かけを行う、夜に電気が点いているかの確認、散歩時に声かけ・見守りを行うなどの『日常的な見守り』や安否確認や訪問活動などの『定期的な見守り』、また、地域全戸への防犯ステッカーの配布や地域全体で行う研修（救急救命）などが計画に上がりました。

小屋川地区では以前より災害時における連絡体制ができており、7月の豪雨災害時にも自治委員や消防団、隣人同士で声をかけ合い、協力して安否確認が行われました。



代表の宝珠山博一さん

コロナ禍の前より公民館長を中心に見守りネットワーク立ち上げの話は上がってましたが、想いはあってもなかなかコロナの影響もあり立ち上げる事ができませんでした。今回、小屋川地区に見守りネットワークが立ち上がったことにより、地域の安全・安心を第一に住民全員で協力して活動をしていきたいと思っています。

皆さんの地区でも見守りネットワークの体制づくりをしてみませんか？お気軽にご相談下さい。 問い合わせ先 社協山国 城土 ☎62-2898



立ち上げ準備会議の様子



## ～心疾患と認知症の関係を知っていますか？～ 認知症の人を地域で支える学習会が開催されました

9月21日は世界アルツハイマーデーです。高齢者相談支援センター社協では、この日山国社会福祉センターにて、認知症の人を地域で支える学習会を開催し、90名の方の参加がありました。

前半は、「世界アルツハイマーデー」の紹介と、職員による寸劇が行われ、認知症について身近な内容に参加者から共感のうなずきや笑い声があふれていました。



熊谷循環器内科医院 熊谷英太先生



寸劇「ある日の一コマ」

後半は熊谷循環器内科医院の熊谷英太先生による講演が行われました。心疾患と認知症には因果関係があり、高血圧症と塩分摂取の関係性や、喫煙の影響について等のお話がありました。日常生活習慣を健康的に見直すことは、認知症に対しても好影響を与えるそうです。



参加者全員で「オレンジライトアップ」

### アルツハイマーデーとは？

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓発を実施しています。

## 令和5年度 第1回山国地区いきいきサロンネットワーク協議会

10月20日、山国地区いきいきサロンネットワーク会議を開催しました。今回は「お持ち帰り学習」をテーマに、サロンで使える替え歌8曲、黒田節に合わせての脳トレをしました。

その後、意見交換を行いました。各サロンの取り組みを聞くことでヒントを得たり、悩んでいることにはみんなで知恵を出し合って解決しようとする意見などで終了時間をオーバーしての意見交換会となり、サロン同士のつながりや連携がみられました。



### 《こんな意見がでました》

- ・男性の参加が少ない
- ・地域で見守り活動をしている
- ・大きなお手玉をみんなで作って体操に使用している
- ・新規で男性が入り、地域の美化活動をすすめている
- ・パターンが決まっているので、マンネリ化している
- ・家に引きこもりの人がいるのでサロンに来てもらいたい
- ・大杉の会と長尾サロンで合同サロンをして、ハーモニカ演奏をもらった

など活動報告がありました。



## ＜小中学校の活動紹介＞

### 感動！ヘレン・ケラー上演 ～三郷小・山国中合同開催～

10月13日、三郷小学校にて三郷小学校、山国中学校、地域の方々が会し、東京劇団『風』による「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち～」が上演されました。日頃なかなか見る機会のない演劇。三重苦を克服した奇跡の人と言われている「ヘレン・ケラー」の生涯や迫力ある張り詰めた舞台に終始見入っていました。地域の方々も久しぶりに学校に行き、感動の舞台と元気な子どもたちとふれ合うことができ、元気をもらった様子でした。



### クリーンアップ山国

10月19日、山国中学校の生徒によるクリーンアップ山国が行われました。コアやまくに、社会福祉センター周辺のゴミや落ち葉拾いをしました。グループに分かれて清掃を行い、道路がみるみるうちにきれいになりました。

